

選手・チーム役員・観戦者配付用

全国中学生ハンドボールクラブカップ2022 感染拡大防止ガイドライン

令和4年7月28日

全国中学生ハンドボールクラブカップ実行委員会

本ガイドラインは、「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン第5版」((公財)日本中学校体育連盟)及び「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン～令和4年度～」(埼玉県教育委員会)、「埼玉県中学校体育連盟 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインVer. 3(令和4年5月10日)」及び「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン(第4版)2022.0510」((公財)日本ハンドボール協会)に基づき、全国中学生ハンドボールクラブカップ(以下、大会)実施時の対応方針として、全国中学生ハンドボールクラブカップ実行委員会(以下、実行委員会)が作成しました。なお、本ガイドラインは、現時点で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の新型コロナウイルスの感染状況や、ワクチン接種の状況により、適宜見直すことがあり得ることに御留意ください。

1 大会開催における基本的な実施判断基準について

- (1)大会開催にあたっては、埼玉県、開催地、会場施設の方針に従う。
- (2)体育館内では、換気など適切な感染防止対策を講じた上で実施する。

2 大会参加申込時の留意事項

実行委員会は、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求める。大会参加者の安全を確保するため、これを遵守できない大会参加者には大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。

(1) 大会参加者の同意

①所属チーム責任者の確認事項

(ア) 大会に参加する選手及びチーム役員・関係者(保護者等)が、事前に本ガイドラインをもとに感染症対策への同意を得ていることを同意書にて確認する。【大会参加同意書】(様式1)

(イ)「大会参加同意書」に必要事項を記載とチーム責任者の署名をして、監督会議前に提出する。

②感染の不安から参加を希望しない選手については、無理に参加させない。このことについては、全ての指導者に対し周知する。

(2) 体調管理

①登録選手及チーム役員・関係者(保護者等)は、8月1日からの体調を各自で記録し、健康管理を徹底する。なお、記録した書類等の提出は求めないが、大会を通して感染した場合は必要に応じて、実行委員会が8月1日からの検温及び体調の状況説明を求める場合があります。

②すべての入館予定者は参加日より最終参加日まで毎朝、右記の

【Googlefoam「健康観察簿」】への入力を行うこと。

詳細は、別添『会場案内および諸注意』にて確認する。

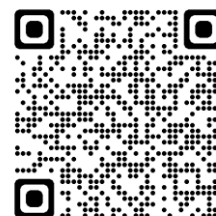
「健康観察簿」<https://forms.office.com/r/ZpEwHja6kQ>



(3) 参加不可となる条件

以下の事項に該当する選手やチーム役員・関係者(保護者等)は、大会に参加できない。(大会当日に「健康観察表」で確認を行う)

- ① 体調がよくない場合(例：発熱・咳・咽頭痛・腹痛など体調不良の症状がある場合)
入場および出場を認めない。ただし、生理的な体調不良(車酔い等)の場合は体調を整えてから入場することを認める。
- ② 新型コロナウイルス感染者と判断された場合
- ③ 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触があると判断された場合
- ④ **新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者の療養・待機期間については、埼玉県発表の「新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者の療養・待機期間について」(2022年7月23日記載)に基づいて各チームで判断してください。**
[新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者の療養・待機期間について - 埼玉県 \(saitama.lg.jp\)](https://www.saitama.lg.jp/)



※選手及び役員で体調不良者または陽性者が出ってしまった場合のチーム出場について

- ・大会事務局に連絡をしてください。

チーム監督と協議の上、該当者と選手またはチーム役員が濃厚接触ではない等、出場選手や役員が、濃厚接触等の該当外と判断した場合に限りチーム出場の参加を認める。

4 大会参加者が準備・実施すべき事項

(1) 参加者が行う感染拡大防止

①マスクの着用

参加選手を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用する。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外す。ただし、飛沫防止に心がける)

②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。また、手を拭くためのマイタオルを持参する。特に、入館時のアルコール消毒、試合や食事の前後の手洗い・手指消毒を必ず行う。

③飲食物やタオルは個々に用意し、応援または保護者等で配付をしたり共用したりしない。

④競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保する。(最低1m)大会中は大きな声での会話、応援等をしない。

⑤感染拡大防止のために実行委員会が決めたその他の措置を遵守し、実行委員会の指示に従う。

(2) 大会運営に関する事項

【入館者の制限について】

①実行委員会が人数制限および入退場時間を定める。

②選手がケガ等で救急対応等を必要とする場合は、該当保護者のみ特別に緊急対応を認める。その際は、受付にて口頭での健康チェック及び検温を行ってからの入館となる。

③原則、競技に参加する選手、チーム役員、関係者(保護者等)のみが入館できる。ただし、関係者の家庭の事情で、小学生以下の子どもを連れてくる場合は、人数制限の対象外とする。

④埼玉県内の感染状況や会場の施設規定により、急遽、大会事務局から無観客試合または入場人数削減等の通達を出す場合がある。

【競技中の注意事項】

- ①プレー中も選手、役員等同士の接触機会を減らすよう、以下の点に可能な範囲で配慮する。
- ②ウォームアップ中は、極端に大きな声を出さないように控える。
- ③試合前などの円陣やベンチでの集合時においても、できるだけ密集・接触を避ける。
- ④競技前に仲間と手をつないだり肩を組んだり、ハイタッチをする等の円陣は控える。
- ⑤競技中、靴底を手で触らない。
- ⑥ベンチでは離れて座る。必要以上の私語は慎む。

ベンチ幅は椅子の間隔を保つため、実行委員会が定めた競技規則外の幅で設置する。

- ⑦タオル、水ボトルなどの共用は禁止する。

【用具等の消毒について】

- ①チェンジコートの際、使用したベンチを消毒する。消毒が終わってからベンチを使用する。
- ②試合終了後も使用したベンチの消毒を行う。
- ③次チームは用具の消毒等が終わった後、コートに入る。

【大会中の健康管理】

- ①チーム責任者は、選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時までこまめに選手の健康観察を行う。
- ②換気等で会場内の気温が高いため熱中症予防にも十分配慮し、こまめに水分補給などをする。
- ③自チームの試合終了後、チーム役員は選手等の健康観察を口頭等で行う。
- ④選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、チーム責任者は保護者と確実に、速やかに連絡が取れる体制を構築しておく。

【その他】

- ①会場内の移動は、密を避けるため各会場の指示に従う。
- ②トイレ等は、定められた場所を使用する。また、選手が密となりえる集団となってトイレを使用しないよう配慮する。
- ③観客席は、着席した際に一定の距離が保てるよう、荷物の置き方など配慮する。
- ④極力、通路の手すりや壁に触れないように移動する。また、通路やトイレでは必要以上の時間立ち止まることなどは控えて、歩行者との接触がないように注意する。

5 実行委員会が準備・実施すべき事項

(1) 手洗い場所

- ①石鹸(ポンプ型)、手洗いに関するポスター、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

- ①ゆとりを持たせることが難しい場合は、入室する人数を制限する等の措置を講じる。
- ②換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。
- ③控え室等を使用する際は、入退室の前後に手洗い又は手指消毒を行う。

(3) 飲食（施設内）

- ① 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
- ② 飲食場所は観客席のみとし、広さにゆとりを持たせ他の者と密にならないようにする。
- ③ 飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめ（原則、私語禁止）にするよう指導する。
- ④ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を施設内で捨てないように指導する。
- ⑤ 選手等の飲食はチーム役員の責任においてさせるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせる。

(4) ゴミの廃棄(ゴミは持ち帰りが原則)

- ① 鼻水、唾液などが付いたゴミは、個人が準備した袋に入れて密閉し縛った上で持ち帰らせる。
- ② 万が一ゴミを回収する際には各チームで準備したマスクや手袋を着用し、鼻水、唾液等が付いたゴミは各チーム持参のビニール袋に入れて密閉し、処分する。

(5) その他

- ① 公共交通機関を利用する場合は、マスクの着用を徹底し、近距離での会話を控え、会場（自宅・宿泊施設）到着後は、顔をできるだけ触らずに、速やかに手を洗う。

6 当日の受付時の留意事項

- ① 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある人は入場しないように呼び掛けること。
- ② 参加者がマスクを準備しているか確認をすること。

7 参加選手またはチーム役員(関係指導者)の感染が判明した場合の対応

(1) 大会前

- ① 当該参加選手とチーム役員は、濃厚接触者と特定された場合の出場(入場)は認めない。

(2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状を訴える参加選手を確認した場合は、保護者等に迎えに来てもらい速やかに帰宅させ、医療機関に電話等で相談するように指導する。
- ② 上記①の選手からの聴取により、十分な感染対策をせずに一緒に食事をした等の接触があった者は、会場内における諸活動を中断させ、体調の確認や検温を実施すること。
- ③ 上記①によって帰宅した選手については、翌日以降の参加を見合わせる事。

(3) 大会後

- ① 14日間は健康観察記録を継続し、感染者が出た場合は所属する学校や関係機関の指示に従う。
- ② 感染者が発生した場合、感染者を特定しようとする事やSNS等で誤った情報を発信することのないよう、全ての関係者に対して指導する。

8 監督会議にて感染対策グッズ配付物

- (1) 大会期間中に感染対策を考え使用すること。※自チームで感染対策に必要なものは準備しておく
 - ・ 泡石鹸（ポンプタイプ）1本・ビニール袋（小）100枚
 - ・ アルコール消毒（ポンプタイプ）1本・雑巾2枚